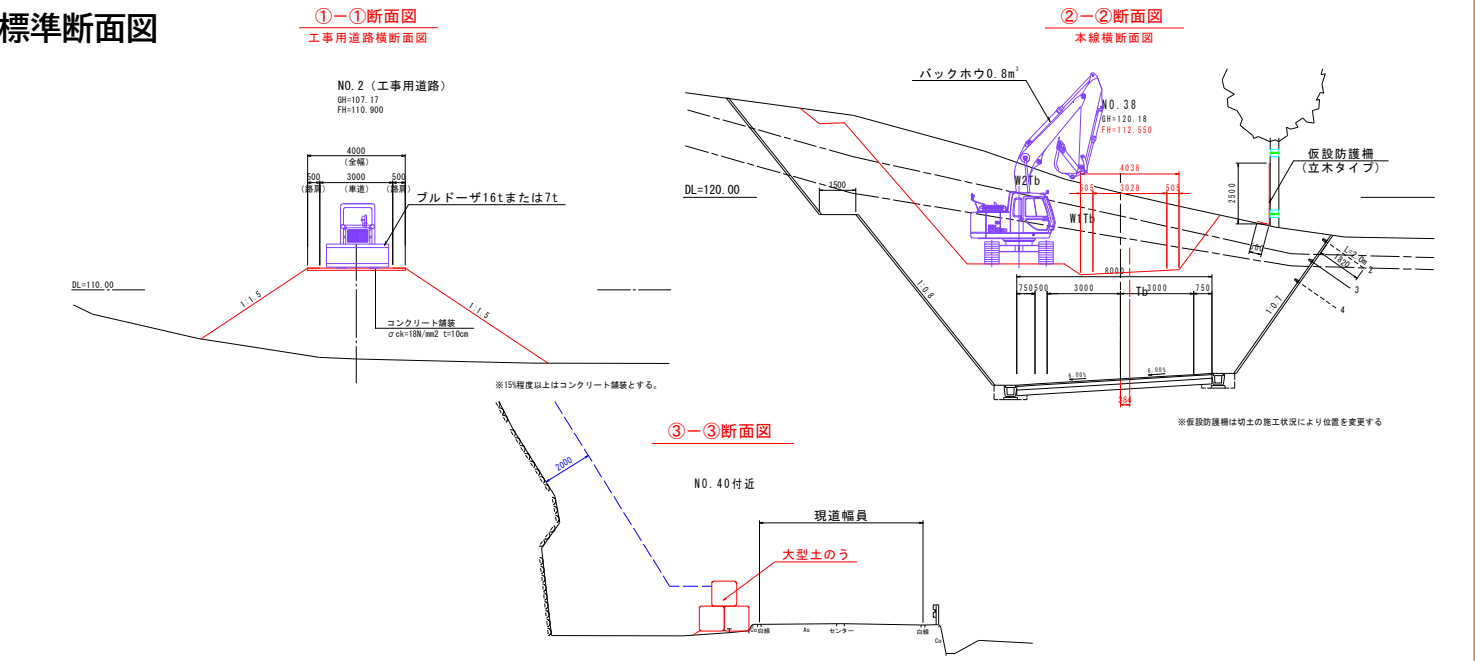
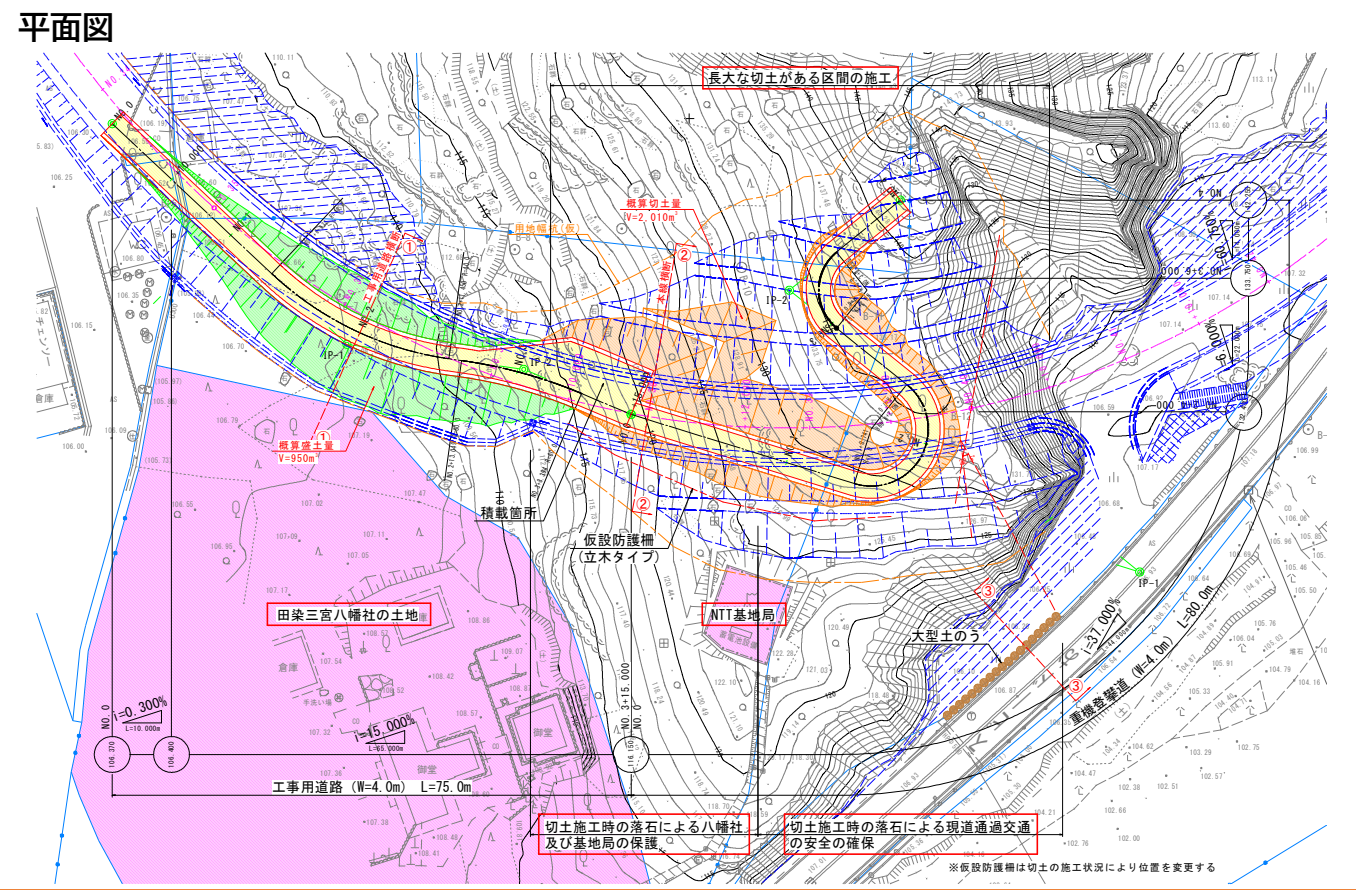




- 現地条件(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)
- ☐ NTT 基地局⇒影響の無いように離隔を確保(設計実施中)
 - ☐ 田染三宮八幡社の土地⇒当該土地に影響が無いように線形を設置
 - ☐ 長大な切土がある区間の施工⇒工事用道路を施工することにより対応
 - ☐ 切土施工時の落石による八幡社及び基地局の保護⇒仮設防護柵を施工することにより対応
 - ☐ 切土施工時の落石による現道通過交通の安全の確保⇒仮設防護柵や大型土のうを施工することにより対応

- 設計条件
- ☐ 道路区分:第3種第 3 級 ☐ 設計速度:V=50km/h
 - ☐ 計画幅員:W=9.75m(車道 3.00m, 路肩 0.75m+0.50m、歩道 2.50m)
 - ☐ 仮設道路幅員:W=4.0m(車道 3.00m,路肩 0.5m×2)
 - ☐ 仮設道路最小曲線半径 R=60m ☐ 最急縦断勾配 i=15.0%



- 施工者からの意見および対応方針
- 改善事項
- 切土施工時の落石対策として仮設防護柵(立木利用タイプ)を計画しているが、現地の立木は雑木が多く設置が困難である
→ 切土箇所直近の法肩にも大型土のうを設置して落石を止める計画とする。
 - 重機登攀道部の土砂運搬を不整地運搬車で計画しているが、縦断勾配が急であり、また曲線もきつい
ため、登攀が困難である
→重機登攀道部については任意仮設とし、立木伐採後の現地状況を確認して設置する。
また、バックホウを複数台使用する方法などにより、ダンプトラック積載場所まで土砂を運搬する。
(なお、ダンプトラックの積載場所までの間の工事用道路については指定仮設とする。)

- 切土施工時に降雨があると土砂が流出するため濁水の処理が必要である
→ 切土端部に沈砂池や仮排水路を設けるように図面に明示する。
- 積載箇所の切土が可能であるか確認したいので断面を追加してほしい
→ 積載箇所の横断面図の追加作成を行う。

- 確認事項
- 工事用道路の幅員が W=4.0m では狭小であり施工が難しいため W=5.0m が望ましい
→ 施工時に使用する重機等の状況を確認し、必要に応じて検討する
 - 工事用道路の縦断勾配が I=15%では土砂を積載していないダンプの走行が困難である
→ 施工時に使用する運搬車両等の状況を確認し、砕石舗装など必要に応じて検討する。
 - 立木の伐採について
→ 工事発注時に、伐採方法等を確認し検討する。